

【湯田ダム】貯水位低下のお知らせ

湯田ダム貯水池内にある岩手県企業局・東北水力地熱(株)の共同取水塔の工事の為、ダムの水位を最低水位 (E.L215.0m) より約6.5メートル低下させております。この共同取水塔は発電やかんがい用水の取水設備となっており、適正な取水機能の確保のため、10年に1度の目安で実施している工事となっております。

水位低下に伴い、錦秋湖は今までと違う光景が広がっています。湯田ダムが建設された50年以上前に存在した大荒沢堰堤跡(東北電気製鉄(株))や大荒沢駅跡(国鉄横黒線)も姿を現しています。

尚、この水位低下は12月始め頃までの予定となっております。

■大荒沢地区の状況



【湛水後】大荒沢地区
(S39. 8月撮影)

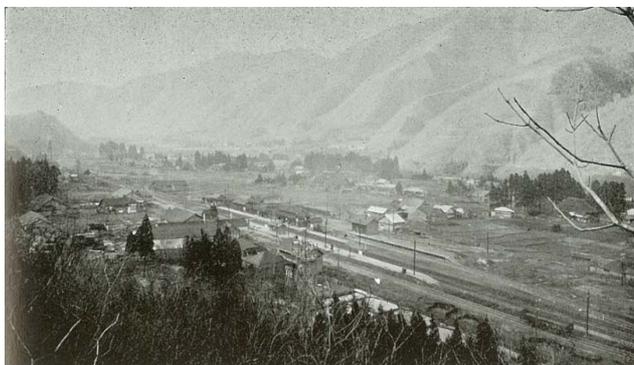


【湛水前】大荒沢地区 (S33. 8月撮影)



↑大荒沢堰堤跡 (H26.9.9撮影)
水位: EL213.20m

←堰堤上屋内部 (H26.9.9撮影)
水位: EL213.20m



【湛水前】大荒沢駅周辺 (S29. 11月撮影)



大荒沢駅ホーム跡 (H26.9.9撮影)

お問い合わせ先: 湯田ダム管理支所 TEL 0197-74-2011